

計画策定に向けた 課題（案）について ～住んでよし編～

2023年8月1日（火）

小平市産業振興課

1. 小平市が目指す 方向性とミッション

1. 小平市が目指す方向性とミッション

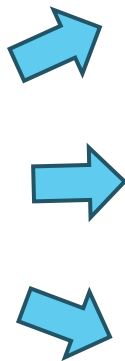
●目指す方向性

住民快適性の向上

① 地域資源の活用による住民満足度が継続するまち

② 住民が誇れる、活力あるまち

地域資源

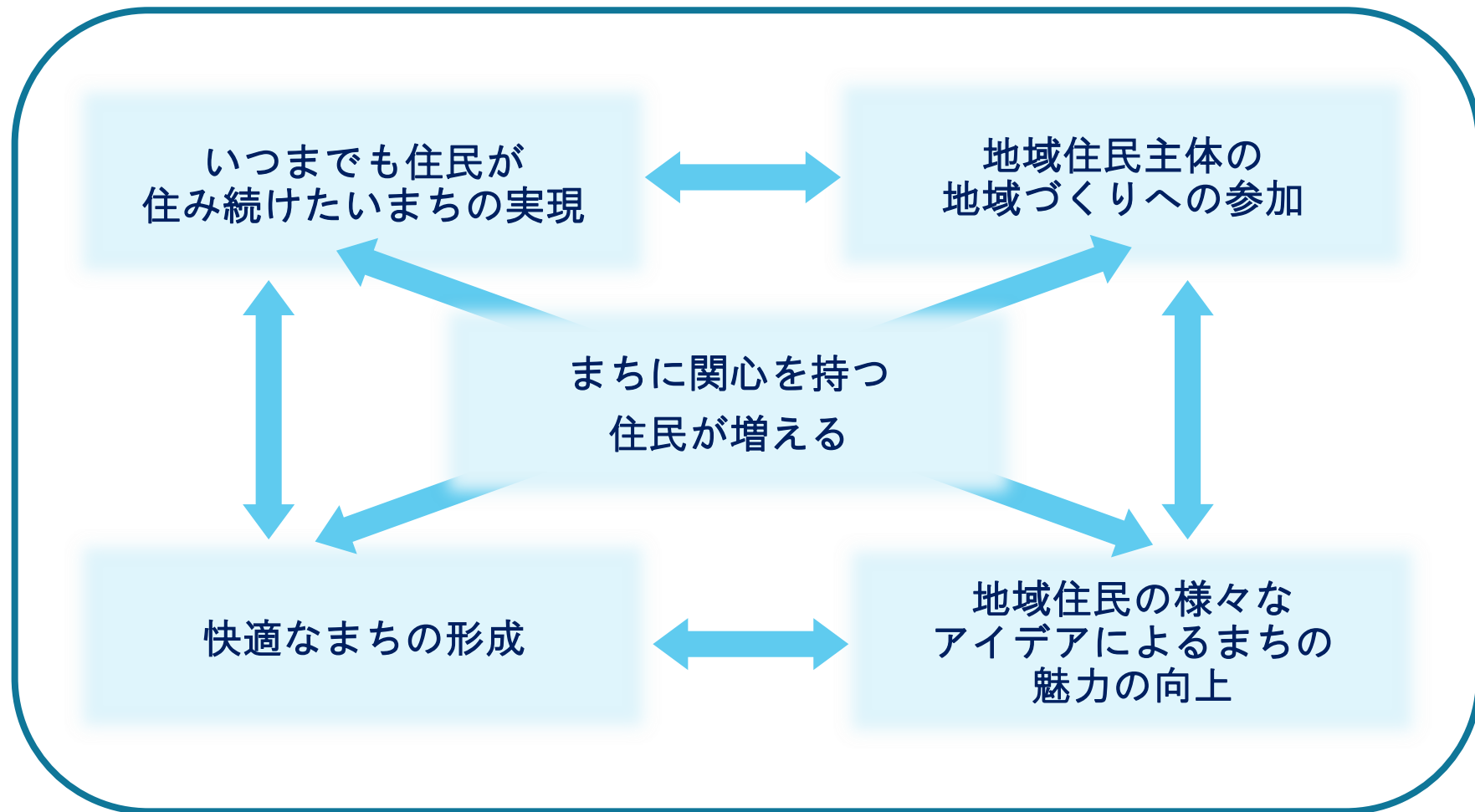


小平市の観光まちづくり

観光を手段として、「住んでよし訪れてよし」のまちづくりを目指す

1. 小平市が目指す方向性とミッション

●小平市のミッション（住んでよし）



2. 住民快適性に向けた ファクターの形成

2. 住民快適性に向けたファクターの形成

●住みたいまちの特徴

- ・住みたい街の理由及び住みやすい街の審査基準としては、赤枠のような要素があげられる。
- ・住みたいまち＝快適なまち という考え方が成り立つ。

■「所沢」街の魅力項目TOP10 順位が急上昇

街の魅力（住みたい理由）	偏差値 2023
今後、街が発展しそう	68.7
住居費が安い	63.0
災害が少ない/防災対策がしっかりしている	61.7
コストパフォーマンスがよく便利なお店や飲食店がある	60.0
生活上の用事を効率的に済ませることができる	59.8
医療施設が充実している（病院や診療所など）	59.6
職場など決まった場所に行くなら電車・バス移動が便利だ	58.6
公共料金が安い	57.9
利用しやすい商店街がある	57.4
運動施設が充実している（フィットネスジム、プール、テニスコートや体育館など）	57.3

本当に住みやすい街大賞2022 第7位「花小金井」		
総合評価 3.83点		
審査基準	発展性	3.45点
	住環境	4.05点
	交通の利便性	3.45点
	コストパフォーマンス	4.20点
	教育・文化環境	3.98点

出典：SUUMO住みたい街ランキング2023 首都圏版、ARUHI 住みやすい街大賞2022

2. 住民快適性に向けたファクターの形成

- 「住みたい街ランキング」、「住みやすい街大賞」からみる快適なまちづくりのファクター

利便性
⇒ 交通、生活

教育環境

安全性

資産性

ゆとり、緑、憩い
⇒ まち、住環境

衛生的なまちづくり

子育て環境

魅力あるまち

3. 快適なまちづくりを 実現するための取 組の方向性（案）

3. 快適なまちづくりを実現するための取組の方向性（案）

●快適なまちづくりを実現するための取組の方向性（案）

要因（着眼点）	取組の方向性（案）	期待される効果
① 安全性	歩きやすい道（無電柱化）づくり、 迷わない道づくり、綺麗な道づくり	・ 来訪者の快適性、住民の快適性の向上
② 利便性 ⑥ 子育て環境	移動しやすいまちづくりの推進	・ 来訪者の快適性、住民の快適性の向上
③ ゆとり、緑、憩い ④ 資産性 ⑤ 魅力あるまち	ゆとり、緑、うるおいのあるまちづくり の推進	・ 来訪者の快適性、住民の快適性の向上
④ 資産性 ⑤ 魅力あるまち	まち全体のブランディングの形成	・ 来訪者の集客 ・ 住民の誇り ・ 資産価値の向上
⑤ 魅力あるまち	住民が参加しやすいまちづくりの推進	・ 来訪者にとっての魅力づくり（行って みたい、関わってみたい） ・ 住民の誇り
⑥ 子育て環境	子どもが（安心・安全に）遊べる 環境づくり	・ 来訪者の増加 ・ 住民の快適性
⑦ 教育環境	充実した教育環境を活用した観光・まち づくり教育の推進	・ 交流人口の増加 ・ 住民の誇り
⑧ 衛生的なまちづくり	衛生的なまちづくりの推進	・ 来訪者、住民も快適に過ごせる

END